

# みはらのたから

三原で輝く若者たち

小4からダブルスでペアを組んだ2人は、普段から仲良しで息はぴったり。ペアを組んで1年後、2人が並行で戦う陣形から、小学生では珍しい後衛と前衛に分かれる形に変更しました。最初はタイミングの調整などに苦戦したものの、「めきめきレベルが上がり、勝てるペアになった」とクラブ代表の伊藤 馨さん。

2人が大切にしているのはコミュニケーション。一緒に対戦相手の試合を見て作戦を練っています。「2人で話した作戦で勝てた時はうれしい。1勝でも多く勝ちたい」と、はつらつとした笑顔で意気込みを話します。



二人で考えた作戦で1勝を！  
家族の応援がパワーに



テニスに欠かせない  
“ラケット”



プレースタイルに合わせて調整。試合ではくるくる回して集中力を高めるそう。



第42回全国小学生  
ソフトテニス選手権大会出場

三原市立沼田東小学校6年生  
三原ジュニアソフトテニスクラブ所属

いなみ ゆの  
伊波 優乃さん(左)  
はなだ まなみ  
花田 愛未さん(右)

父親同士が友人で、幼なじみの二人。声を掛け合って息ぴったりのプレーを見せる。

